

Q 育苗方法もいろいろと新しくなってきました。また、展示圃の他、試験的に行っているものが見れると助かります。

A 水稲育苗講習会を開催しながら、高密度播種育苗についても行いますので、講習会への参加をお願いします。

また、展示圃を設置しながら、生育状況の確認と食味の向上とコスト削減を目指してまいります。



粕毛地区

Q 農産物の販売高を向上させるには、労働力の確保が必要ですが、確保できるのでしょうか。また、無料職業紹介で外国人の導入も行うのですか。

A 労働力を確保するため、現在、行政と協議をしており、子育て世代の方、障害者施設からの派遣等も協議しております。管内の労働力の掘り起こしや、外国人の技能

実習生も含め、検討しております。

また、無料職業紹介所の求職者については、国内となっております。外国人を受け入れるには、労働局に変更届を提出する事になりますが、宿泊の問題、移動手段の問題、宗教的問題、食事の問題等を解決するため、現在行政と検討しております。

Q 現在、本店の移転・新築構想は未定だと思えますが、場所や規模などの案はありますか。新築にあたって、合併との関係などは考えているのですか。また、本店建設に伴う、組合員負担（増資・賦課金の増額）などは必要になるのですか。

A 移転・新築場所及び規模等については、今後、具体的な協議をし合併も視野に入れ検討してまいります。また、建設に伴う賦課金の増額・出資金増資も含め、組合員からのご負担については現在考えておりません。

Q J A 秋田おぼこの件で、他 J A への影響はないのでしょうか。このような状況下で、県 1 J A 構想を進めることはできるのでしょうか。また、J A あきた白神の販売先は大丈夫ですか。

A 「J A 秋田おぼこ」については、今後 5 年間、経営改善計画に沿って赤字解消を図るとしており、現在の所、他 J A への影響はございません。また、5 年後を目途とした県 1 J A の実現を目指すため具体的な研究・協議検討は平成 31 年 4 月以降となります。

また、当 J A と取引のある販売先は 11 社ありますが、帝国データバンクによる信用評価の確認と事前入金・年度末の所有権移転等の対応策で問題はありません。

Q 県 1 J A 構想も公表されているようですが、J A 秋田やまもとのとの協議はどうなっているのですか。

また、県 1 J A 構想に対して、J A 秋田やまもとと合併する意味はあるのですか。

A 山本地区 J A 合併推進協議会による協議は継続しており、県 1 J A 構想も視野に入れながら協議を促進してまいります。

Q 能代厚生医療センター出張所の廃止を検討しているようですが、便利なので残してほしい。

A 今後は、組合員や能代厚生医療センター等と協議を重ね、利便性も考慮しながら、十分な検討を行ってまいります。

協議事項 2

平成 31 年度経営計画のめやす(案)について

Q 水稲作付面積の推移と需給バランスはどうなっているのですか。需給バランスによっては価格が下落することが心配されます。(備蓄米や加工用米など)

A 「需要に応じた生産」を行うため、当 J A は、昨年 11 月に出荷予定契約書を